# Multimedia Storage Viewer™
# P-7000/P-6000

# カメラ接続機能 操作ガイド

## 本書について

本書では、本製品の「カメラ接続機能」の使い方を説明しています。「カメラ接続機能」以外の、本製品に関する情報全般については、本製品付属の「操作ガイド」を参照してください。ご使用になるカメラの用語や操作等についてはカメラのマニュアル(取扱説明書)をご覧ください。カメラ接続機能には2種類のファームウェアがあり、各モードに対応した最新のファームウェアにアップデートすることでご使用いただけます。

- ストレージモード対応ファームウェア：
  エプソンのホームページまたはMyEPSONからダウンロードし、アップデートしてご利用ください。
  本製品のファームウェアのバージョンが「02.51.XXXX-XXXX-XXXX」以上でご使用いただけます。
  本書中、このファームウェアで利用可能な機能には ST マークがついています。

- ストレージモード 兼 ライブビューモード対応ファームウェア：
  MyEPSONからダウンロードし、アップデートしてご利用ください。
  本製品のファームウェアのバージョンが「02.51.XXXX-XXXX-LXXX」以上でご使用いただけます。
  本書中、このファームウェアで利用可能な機能には LV マークがついています。

## カメラ接続機能について

「カメラ接続機能」には「ストレージモード」と「ライブビューモード」があります。

- ストレージモード
  カメラと本製品をUSB接続することで、撮影した画像データをカメラのメモリーカードと、本製品のハードディスクに直接保存することができます。
- ライブビューモード
  撮影に関する基本的な設定の変更を本製品からすることができます。ライブビュー撮影を行うことで、より自由度の高い撮影を行うことができます。

## 使用できるデジタルカメラ

本製品では以下のデジタルカメラでカメラ接続機能を使用することができます(2010年3月現在)。
最新情報はエプソンのホームページ(http://www.epson.jp)でご確認ください。

| ストレージモード | |
|---|---|
| メーカー | 機種 |
| ニコン | D3X／D3S／D3／D700／D300S／D300／D200／D90／D80／D5000 |
| キヤノン | EOS 1Ds Mark Ⅲ／1D Mark Ⅲ／5D Mark Ⅱ／7D／50D／40D／Kiss X3 |

| ライブビューモード | |
|---|---|
| メーカー | 機種 |
| ニコン | D3X／D3S／D3／D700／D300S／D300／D90／D5000 |
| キヤノン | EOS 1Ds Mark Ⅲ／5D Mark Ⅱ／7D／50D／Kiss X3 |

**参考**

- USBケーブルはカメラに同梱されている物、またはカメラのオプション品をご利用ください。詳細についてはお使いのカメラのマニュアル(取扱説明書)をご覧ください。

# もくじ

# カメラ接続機能を使用する前の準備

ST LV

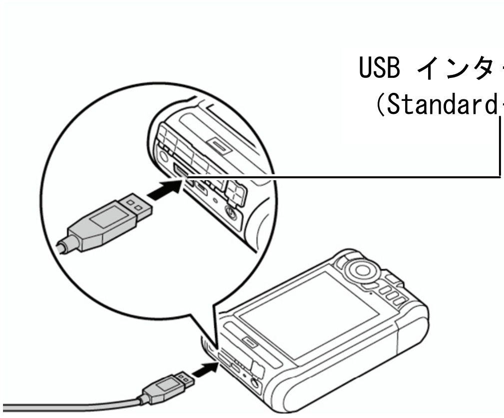
カメラ接続機能を使用する前の準備をします。この準備はストレージモード、ライブビューモード共通です。

## 1 カメラの設定を確認します。

| 機種 | 設定 |
|---|---|
| 全カメラ | ● レリーズ(動作)モードが[ミラーアップ撮影]になっていないことを確認してください。<br>● 露出モードを以下のいずれかに設定してください。<br>　● [A]、[S]:ニコン製カメラ<br>　● [Av]、[Tv]:キヤノン製カメラ<br>　● [M]、[P]:両社共通<br>● 十分に空き容量のあるメモリーカードをカメラにセットしてください。 |
| D3X/D3/D300/<br>D200/D80 | ● カメラのセットアップメニューの「USB」を「MTP/PTP」または「PTP」にセットしてください。 |

## 2 カメラと本製品を接続します。

カメラとUSBケーブルの接続方法についてはカメラのマニュアル(取扱説明書)をご覧ください。




接続後、本製品とカメラの電源を入れ、カメラが撮影可能な状態になっている事をご確認ください。
ライブビューモードを使用する場合は、本書6ページ「ライブビューモードの操作方法」をご覧ください。

# ストレージモードの操作方法

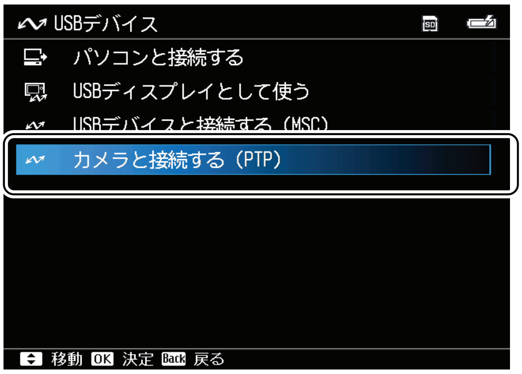
ST LV

## 1 HOME画面で[USBデバイス]を選択します。

①【↑↓】ボタンで［USBデバイス］を選択
②【→】 ボタンを押す

## 2 ［カメラと接続する(PTP)］を選択します。

①【↑↓】ボタンで［カメラと接続する(PTP)］を選択
②【OK】ボタンを押す
＊カメラが省電力モード等になっている場合は接続できません。



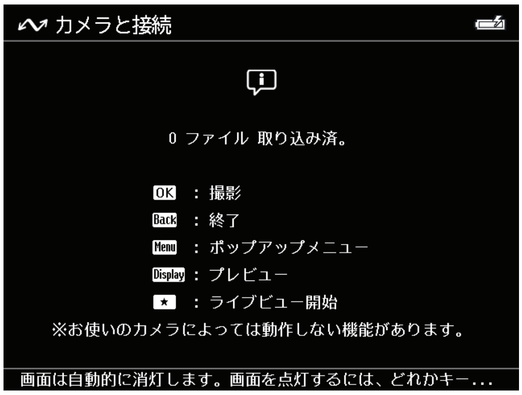

**参考**

● 本製品をカメラに接続して、HOME画面で【Display】ボタンを押しても、ストレージモードに進むことができます。

## 3 撮影します。

カメラのレリーズボタン、または本製品の【OK】ボタンを押して撮影を行います。
＊ 【OK】ボタン長押しによる連続撮影は行えません。

撮影された画像データは自動的にカメラのメモリーカードと本製品のハードディスクの両方に保存されます。
本製品のハードディスクに画像データが保存された後、自動的にプレビューモードに移行します。
＊［ライブビュー開始］はライブビューモード対応ファームウェアにアップデートし、対応カメラを使用した場合のみご利用いただけます。




**！重要**

● 本製品動作中は、本体に衝撃を与えないようにご注意ください。故障の原因になることがあります。
● カメラ接続機能をご使用の際は、USBケーブルが抜けないようにご注意ください。画像データが失われる可能性があります。
● カメラ接続機能の使用中は、カメラのメモリーカードを抜き差ししないでください。カメラのメモリーカードを抜き差しする方法はカメラのマニュアル(取扱説明書)をご覧ください。
● キャリングケースに入れた状態や布などで覆われた状態で使用すると高温になる場合があります。

**参考**

● メモリーカードの空き容量が無くなった場合には、撮影ができなくなります。メモリーカードの空き容量にご注意ください。
● メモリーカードスロットが2つあるカメラで、両方のカードに同じデータを保存する設定になっている場合、撮影すると本製品には同じ画像データが2つ保存されます。

# ストレージモード時のボタン操作




**【OK】ボタン**

撮影を行います。

**【Back】ボタン**

カメラ接続機能を終了します。

**【Menu】ボタン**

メニューを表示します。
メニューでは
[画面の明るさ調整]
[ガイド音]
[操作音]
等を設定することができます。
*ライブビュー対応ファームウェア使用時は、表示されるメニューが異なります。

詳しくは本書7ページをご覧ください。

**【★】ボタン**

ライブビューモード*に進みます。

本書1ページ「使用できるデジタルカメラ」をご確認ください。

*この機能はライブビューモード対応ファームウェアにアップデートし対応カメラを使用した場合のみご利用いただけます。

**【Display】ボタン**

撮影データのプレビューに進みます。

**参考**

- カメラ接続機能を使用すると[バックアップデータ]に日付フォルダが作られ、その中に画像データが保存されます。カメラ接続機能で新しい日付フォルダが作られるのは次の2つの場合です。
  ① 撮影日の1回目の接続時
  ② 日付フォルダ内のデータ数が1000個を超えた時
  例)20090716.001（データ数1000個作成）⇒20090716.002
- 本製品にACアダプタが接続されていない場合、何も操作しない状態が続くと省電力機能が働きます。10秒後に液晶ディスプレイが暗くなり、さらに10秒後に画面表示がオフになります。省電力機能が働いている間はイルミネーションランプが青く点灯します。省電力機能が働いている間にカメラで撮影された画像データは本製品に保存されます。【OK】ボタンや【Back】ボタンなど、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押すと、画面表示がオンになります。
- メニューの[省電力]から[オフ]を選択すると、省電力機能は働きません。
- カメラ接続機能を使用しているときは、カメラでの画像再生が行えないことがあります。

# ライブブビューモードの操作方法

LV

## ライブブビューモードの準備

ライブビューモードを使用するためには、MyEPSONから対応ファームウェアをダウンロードし、アップデートする必要があります。

### 1 カメラの設定を確認します。

| 機種 | 設定 |
|---|---|
| 全カメラ(ライブビューモード対応カメラのみ) | ● カメラがライブビュー撮影に対応していることをご確認ください(本書1ページ)。<br>● カメラの設定をご確認ください(本書3ページ)。<br>● カメラの設定方法についてはカメラのマニュアル(取扱説明書)をご覧ください。 |
| ニコン製カメラ | ● コンティニュアスオートフォーカス、またはマニュアルフォーカスをご使用ください。<br>● D90／D5000はライブビュー時のオートフォーカス設定を「ノーマルAF」にセットしてください。 |
| キヤノン製カメラ | ● カメラ本体をライブビュー撮影が行える設定にしてください。<br>● 操作ボタンカスタマイズを初期設定にしてください。<br>● ライブビュー時のオートフォーカス設定を「ライブモード」にセットしてください。 |

## ライブブビューモードを開始する

### 1 HOME画面で[USBデバイス]を選択します。

①【↑↓】ボタンで［USBデバイス］を選択
②【→】 ボタンを押す

### 2 ［カメラと接続する(PTP)］を選択します。

①【↑↓】ボタンで［カメラと接続する(PTP)］を選択
②【OK】ボタンを押す
* カメラが省電力モード等になっている場合は接続できません。

**参考**

● 本製品をカメラに接続して、HOME画面で【Display】ボタンを押しても、ストレージモードに進むことができます。

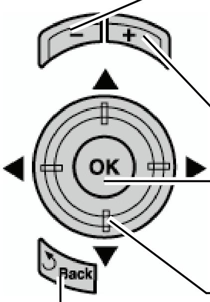
### 3 ライブビューを開始します。

【★】ボタンを押す

### 4 撮影します。

【OK】ボタンを押す
*【OK】ボタン長押しによる連続撮影は行えません。

## ライブビューモード時のボタン操作




ニコン製カメラの場合、ライブビューを縮小します。
キヤノン製カメラの場合、絞り込みのオン･オフを切り替えます。

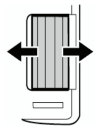
ライブビューを拡大します。

撮影を行います。

AFポイントを移動します。

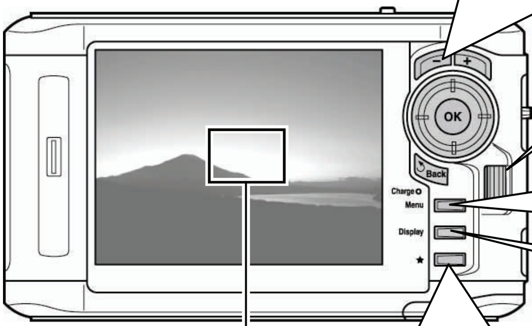
ライブビュー撮影を終了します。

フォーカス微調整



左回転
近くに

右回転
遠くに




AFポイント

【Menu】ボタン

メニューを表示します。
メニューでは［カメラ設定］［レリーズモード］を設定することができます。
詳しくは本書8～9ページをご覧ください。

【Display】ボタン

グリッドの表示／非表示を切り替えます。
*拡大中はグリッドは非表示になります。

【★】ボタン

オートフォーカスを実行・中止します。

**参考**

- ライブビュー開始時と終了時にミラーの動作音がしますが、撮影は行われていませんので、ご注意ください。
- オートフォーカス中は、AFポイントの枠が灰色になります。オートフォーカスに成功すると、枠が緑色になります。
- AFポイントの枠が黄色い場合、撮影直前にカメラでのオートフォーカスが動作してから撮影されることがあります。カメラが自動的にオートフォーカスした場合は、ピントが合わないと撮影されないことがあります。各カメラの設定については、本書6ページをご覧下さい。
- オートフォーカス中は他の操作を行う事ができない場合があります。
- ニコン製カメラをご使用の場合、ライブビューモード中はカメラの操作を行うことはできません。
- キヤノン製カメラをご使用の場合、カメラの液晶モニターでもライブビュー表示を行うと、カメラの操作をすることができます。
- ライブビューモード中のオートフォーカスはカメラのコントラストAFになります。
- カメラでのライブビュー時にオートフォーカスができないカメラは、本製品からもオートフォーカスを実行することができません。
- 絞り込みをオンにすると、被写界深度を確認することができます。

# カメラの撮影設定をする

## カメラの設定を操作する

ライブビューモード対応のファームウェアを使用すると、本製品からカメラの撮影設定を変更することができます。設定できる内容は露出モードによって異なります。

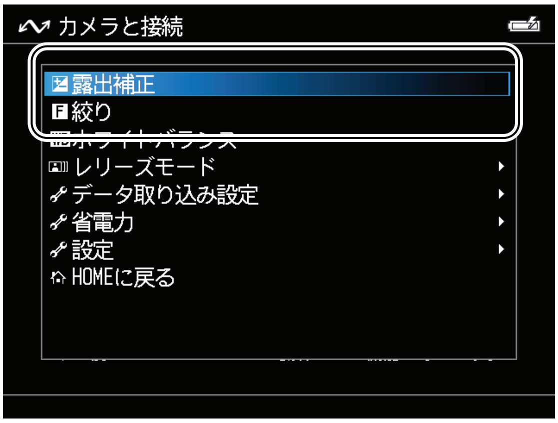
| 露出モード | M | A/Av | S/Tv | P |
|---|---|---|---|---|
| 露出補正 | － | ○ | ○ | ○ |
| 絞り | ○ | ○ | － | － |
| シャッター速度 | ○ | － | ○ | － |
| ホワイトバランス | ○ | ○ | ○ | ○ |

### 1 カメラ接続中に【Menu】を押します。

ポップアップメニューが開きます。

### 2 設定する項目を選択して、撮影設定を変更します。

①【↑↓】ボタンで 設定する項目を選択
②【OK】ボタンを押す
③【↑↓】ボタンで 値を選択
④【OK】ボタンを押す




*キヤノン製カメラを接続した場合
［レリーズモード］は表示されません。

参考

- ミラーアップ撮影、バルブ撮影には対応していません。
- 非CPUレンズを装着した場合の撮影には対応していません。
- 露出補正、絞りのステップ幅は、カメラの設定に従います。本製品から変更することはできません。
- カメラの設定によっては、露出補正の変更結果がライブビューに反映される場合があります。
- 露出インジケーターは表示されません。
- カメラのライブビュー時のオートフォーカス設定が［顔認識AF］になっている場合、フォーカスポイントの移動や拡大ができない場合があります。
- ライブビュー対応のファームウェアを使用するとD200、D80もカメラの設定を操作できます。

# レリーズモードを設定する（ニコン製カメラ）

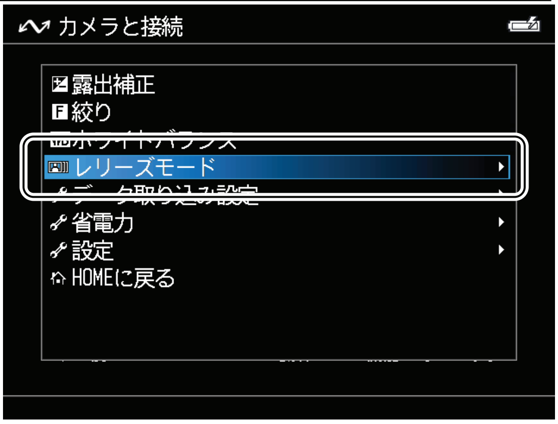
ライブビューモード対応のファームウェアを使用すると、本製品から連続撮影やオートブラケティング撮影を行うことができます。連続撮影は、単写、3枚、5枚、7枚、9枚から選択できます。
レリーズモードの設定はニコン製カメラと接続した場合に行えます。

## 1 カメラ接続中に【Menu】を押します。

ポップアップメニューが開きます。

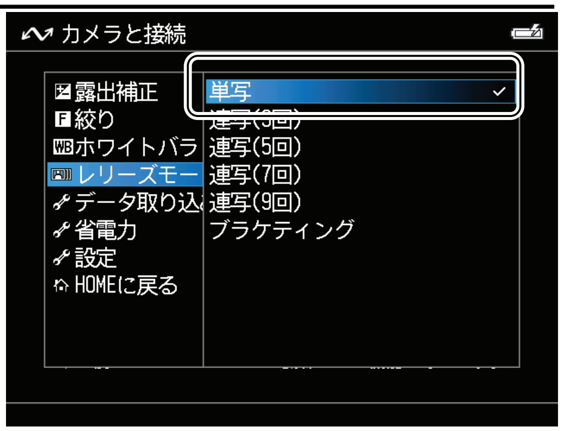
## 2 レリーズモードを選択します。

①【↑↓】ボタンで［レリーズモード］を選択
②【OK】ボタンを押す




## 3 設定する項目を選択して、撮影設定を変更します。

①【↑↓】ボタンで 設定する項目を選択
②【OK】ボタンを押す




**！重要**

- 連写を選択した場合、オートフォーカスが有効になっているとカメラによっては撮影中にAFが動作することがあります。連続撮影を行う場合、事前にテスト撮影を行い、必要に応じて撮影の前にマニュアルフォーカスに切り替えることをお勧めします。
- D3Sはライブビューモード時に連続撮影を行うことはできません。

**参考**

- 本製品からブラケティング撮影を行う場合、カメラのオートブラケティングの設定によっては本製品で指定した枚数だけ撮影されない場合があります。
- オートブラケティングの内容はカメラの設定に従います。本製品から変更することはできません。
- フラッシュを使用したオートブラケティング撮影、ADLブラケティングには対応しません。
- RAWで撮影する場合、ホワイトバランスのオートブラケティング撮影は行えません。

# 転送するデータを選択する

ST LV

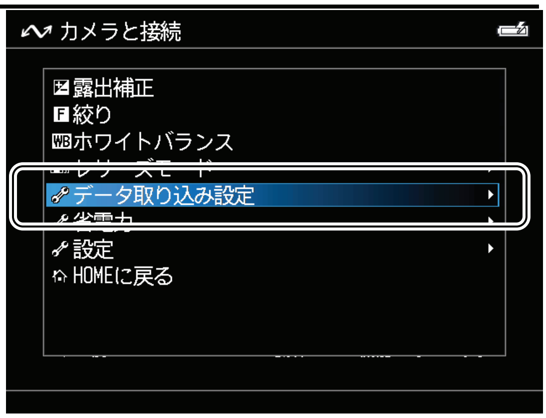
RAWとJpegの同時撮影を行う場合、本製品に取り込むデータを選択することができます。

## 1 カメラ接続中に【Menu】を押します。

ポップアップメニューが開きます。

## 2 [データ取り込み設定]を選択します。

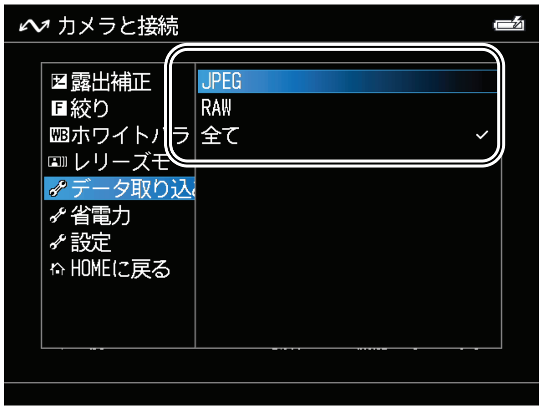
①【↑↓】ボタンで［取り込み設定］を選択
②【OK】ボタンを押す




*キヤノン製カメラを接続した場合
［レリーズモード］は表示されません。

## 3 取り込むデータを選択します。

①【↑↓】ボタンで 設定する項目を選択
②【OK】ボタンを押す




**!重要**

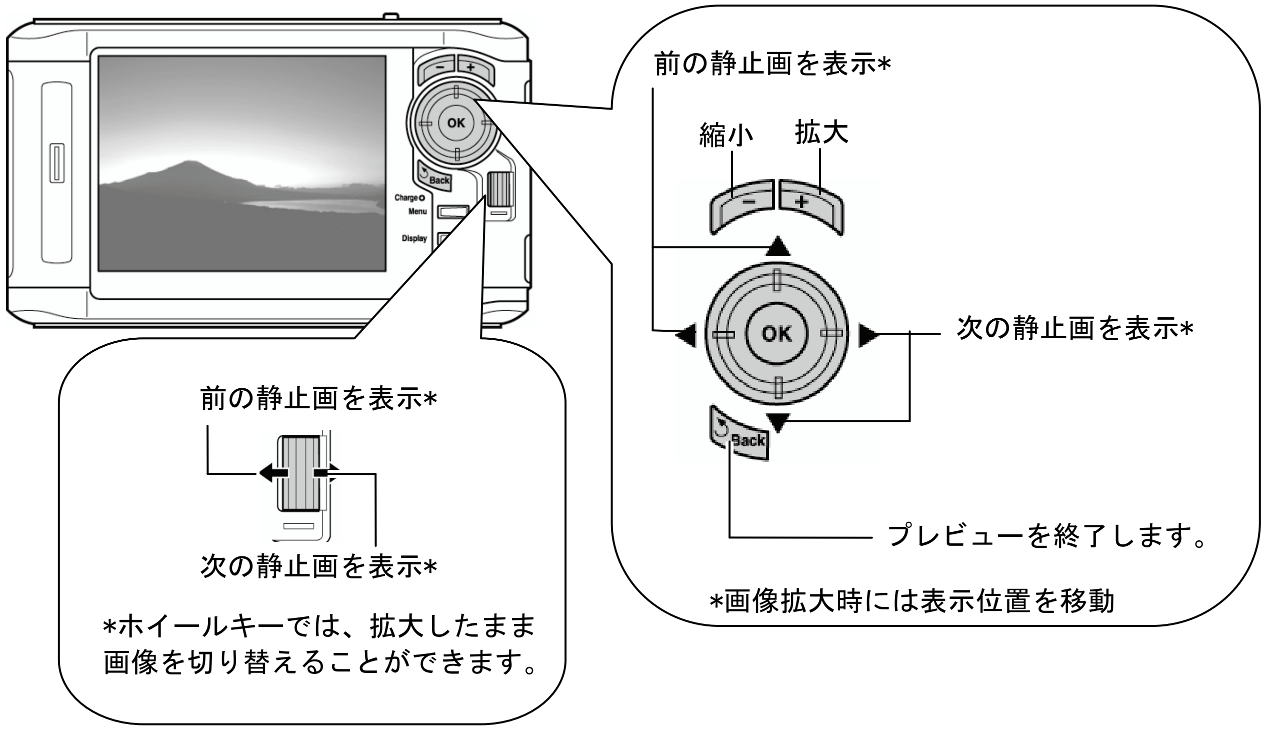
- データ取り込み設定は、カメラにメモリーカードが挿入されている状態で、RAW+JPEGで撮影するときのみ有効です。それ以外の場合は全てのデータが本製品に転送されます。
- データ取り込み設定が有効な状態で[JPEG]または[RAW]が選択されているときには、動画の撮影を行ってもデータの転送は行われません。
- データ取り込み設定は初期値は[全て]です。カメラとの接続を終了後に再接続すると[全て]に戻ります。

# 撮影した画像をプレビューする

ST LV

本製品に保存された画像データを確認することができます。画像データが保存されると自動的にプレビューに移動します。

## プレビュー時のボタン操作




**参考**

- プレビューで表示される画像は、カメラの画質モードによって変化する場合があります。
- 画像の転送中は、プレビュー画面を操作できません。大量の画像を連写した場合などはしばらく操作ができなくなります。
- プレビュー画面では画像の自動回転は反映されません。
- カメラとの接続中に新しい日付フォルダが作成されると、前の日付フォルダに保存されている画像データは表示されなくなります。カメラとの接続を終了し、バックアップデータから閲覧してください。
- プレビューを終了すると、プレビューに移動する前の画面に戻ります。
- ライブビュー撮影から移動してきた場合とACアダプタ接続時以外は、一定時間が経過すると自動的に省電力機能が動作します。
- 通常の静止画を見るときと同じようにレーティングや白飛び黒つぶれの確認等が行えます。
- プレビュー中に画像データの削除は行えません。
- TIFF画像の表示には対応していません。

# 困ったときには

## エラーメッセージ一覧

| こんなメッセージが表示されたときには | こうしてください |
|---|---|
| 接続されたUSBデバイスには対応していません。 | 対応していないカメラが接続されています。お使いのカメラが、カメラ接続機能に対応していることをご確認ください(本書1ページ)。 |
| 前回、カメラとの接続機能を使用中に自動的に電源オフされました。データを本製品に取り込めなかった可能性があります。 | カメラ接続機能を使用中にバッテリー残量が無くなるなどの理由で本製品の電源がオフになった場合、次回起動時に表示されます。撮影データが保存されているかご確認ください。 |
| データ取り込み中にカメラとの接続が解除されました。データが失われる可能性があります。カメラを再接続してください。 | カメラ接続機能を使用中にUSBケーブルが抜かれた場合に表示されます。カメラと本製品をUSBケーブルで再接続してください。撮影データが保存されているかご確認ください。 |
| 本体ハードディスクの空き容量が少ないため、この機能を実行できません。カメラとの接続を終了します。 | 本製品のハードディスクの空き容量が512MB以下になると表示されます。撮影データをパソコン等に移動させて空き容量を増やしてください。 |
| エラーが発生したため処理を終了します。 | カメラとの通信でエラーが発生した場合に表示されます。カメラと本製品の電源をオフにし、再度接続してください。 |
| カメラとの接続が解除されたため、一部のデータが取り込まれていない可能性があります。 | カメラ接続機能を使用中に、USBケーブルが抜けたり、カメラの電源がオフになる等が原因で一部の撮影データがハードディスクに保存されていない可能性があります。撮影データが保存されているかご確認ください。 |

## トラブル対処法

「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しないときは、故障している可能性がありますので、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターにご連絡ください。

### しばらくすると電源がオフになる

- ✔ 省電力機能が働いています。電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押してください。省電力機能は、カメラ接続中のメニュー[省電力]からオンとオフを選択することができます。
- ✔ 本製品が高温になっていませんか。キャリングケースに入れた状態や布などで覆った状態で使用したときなど、本製品が高温になると自動的に電源がオフになることがあります。このときは本製品の温度が下がるまでお待ちください。

### 警告音が鳴り続ける

- ✔ バッテリー残量が少なくなっています。バッテリーを充電してください。

## プレビューがされない

- ✔ 静止画が壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。表示できるデータ形式を確認してください。
- ✔ 撮影画像が無い場合には、プレビューする事ができません。画像を撮影してからプレビューを行ってください。

## サムネイル表示ができない

- ✔ カメラ接続機能使用中は、サムネイル画面は表示されません。HOME画面から[バックアップデータ]を選択し、画像が保存された日付フォルダを開いてください。

## ライブビューモードでAFポイントが動かせない

- ✔ カメラのライブビュー時のオートフォーカス設定が[顔認識AF]または[顔優先ライブモード]になっていませんか？各カメラの設定については、本書6ページをご覧下さい。

## ライブビューモードをスタートすると黒い画面が表示されてしまう

- ✔ カメラのバッテリーが少なくなっていませんか？カメラのバッテリーを充電してください。
- ✔ 動画の撮影をしていませんか？一部の機種では動画撮影中は本製品でのライブビューができない場合があります。動画撮影していないことを確認してください。

## OKボタンを押しても撮影できない

- ✔ カメラの設定によっては、フォーカスが合わないと撮影されない場合があります。フォーカスが合うようにしてから再度撮影を行ってください。
- ✔ カメラのメモリーカード、または本製品のHDDの空き容量が少なくなっていませんか？撮影データをパソコン等に移動させて空き容量を増やしてください。
- ✔ 本製品、またはカメラのバッテリー残量が少なくなっていませんか？バッテリー残量が十分あるか確認してください。

## カメラのレリーズモードが変更されてしまう

- ✔ D90、D5000はOKボタンで撮影すると、レリーズモードが変更される場合があります。本製品でレリーズモードを［単写］に設定すると、カメラのレリーズモードは［s］(1コマ撮影)になります。本製品でレリーズモードを［3枚］、[5枚]、[7枚]、[9枚]に設定すると、カメラのレリーズモードは［CH］(高速連続撮影)になります。

# 使用上の注意

1. 万一、本製品の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

2. 本製品動作中は、本体に衝撃を与えないようにご注意ください。故障の原因になることがあります。

3. カメラ接続機能使用中は、カメラ側の一部機能が有効に動作しない場合があります。